

中央電気倶楽部月報

◎公開講演会講演録

『台湾有事と日本の課題』

／元 航空自衛隊 空将 航空支援集団司令官
麗澤大学 特別教授 織田 邦男 氏

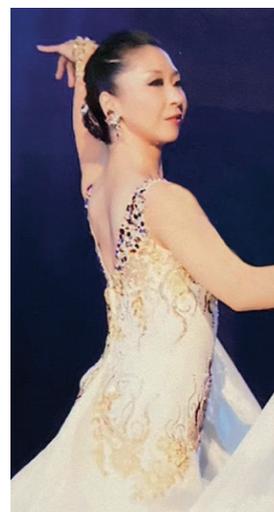
2023
10
Vol.856

中央電気倶楽部月報

令和五年十月一日発行 一般社団法人中央電気倶楽部 〒530 0004 大阪市北区堂島浜一丁目二十五 電話〇六一六三四五一六三五(代) FAX〇六一六三四五一六八七七



社交ダンス部二十周年記念 ダンスパーティー開催のご案内



黒木貴子先生

いよいよ今月十月二十八日 土曜日開催の運びとなりました。これも皆様方の永年にわたるご支援の賜物と感謝いたしております。ふるつてのご参加をお待ちしております。

日時 令和五年十月二十八日 土曜日
場所 五階ホール
参加費 一〇〇〇〇円(食事代込み)
※食事は三階レストランにて十一時から十三時半の間にお召し上がりください。

★**主なタイムスケジュール**
十一時 受付
十二時三十分 ドアオープン
ダンスタイム
十六時三十分 閉会

★**お問い合わせ**
事務局・藤永



社交ダンス部講師
黒木貴子先生
今枝孝康先生

文化探究会見学会のご案内

十月の文化探究会は、奈良の歴史を堪能しに出かけます。
午前中は、二〇二三年三月にオープンした「なら歴史芸術文化村」です。日本初の試みとして仏像彫刻や考古遺物等の修復作業が公開されており、今回、特別に同施設の副村長伊藤様にご案内いただき、修復工房などをご見学いただきます。
ご昼食は、一九〇六年に創設され、関西の迎賓館として名高い「奈良ホテル」でお楽しみいただきます。
そして、東大寺大仏殿を訪問し、今回特別のご縁により東大寺上院の清水公仁副院長から直々に、東大寺の歴史や建立の意義などのお話を伺います。



なら歴史芸術文化村 修復工房

開催日 令和五年十月二十五日(水)【雨天決行】
集合 八時三十分 中央電気倶楽部一階ロビー
行程 アロフト大阪堂島(旧堂島ホテル)前
：なら歴史芸術文化村：奈良ホテル：東大寺大仏殿：アロフト大阪堂島と大阪駅(十七時三十分頃帰着予定)

会費 一五、〇〇〇円
会員外(ご家族含む) 一五、〇〇〇円

申込み 十月十六日(月)までに中央電気倶楽部事務局(松本)までお申込み下さい。
メール matsumoto@chuodenki-club.or.jp
TEL 〇六一六三四五一六三五六
FAX 〇六一六三四五一六八七七

*開催日の前々日以降は、会費の半額をキャンセル料として申し受けます。

電気施設関係見学会のご案内

十一月の電気施設関係見学会は、日本原子力発電(株)の美浜原子力緊急事態支援センターを見学します。同センターは、万が一の原子力災害時に、遠隔操作ロボット等の資機材や要員派遣などを行う拠点です。普段は見ることのない、対応訓練や、資機材の操作を特別見学します。
ご昼食は美浜の「ホテル湾彩」にてこの地でこそ味わえる「若狹もの」と呼ばれる新鮮な季節の旬味をご堪能ください。と呼ばれる新鮮な季節のお土産には、巨大海鮮市場の「日本海さかな街」でお買い物をお楽しみください。



支援センターの活動

開催日 令和五年十一月十四日(火)【雨天決行】
集合 八時三十分 中央電気倶楽部一階ロビー
行程 アロフト大阪堂島(旧堂島ホテル)前
：ご昼食「ホテル湾彩」：美浜原子力緊急事態支援センター「見学：敦賀「日本海さかな街」：アロフト大阪堂島と大阪駅十九時頃帰着予定

*交通事情により遅れる場合があります。
※交通事情により遅れる場合があります。

会費 一五、〇〇〇円
会員外(ご家族含む) 一五、〇〇〇円

申込み 十月三十一日(火)までに中央電気倶楽部事務局(松本)までお申込み下さい。
メール matsumoto@chuodenki-club.or.jp
TEL 〇六一六三四五一六三五六
FAX 〇六一六三四五一六八七七

*開催日の前々日以降は、会費の半額をキャンセル料として申し受けます。



えれき亭

十月のスケジュール

三十一	火	
三十	月	
二十九	日	絵画部展示会(囲碁室前)十月二十六日～十一月二日
二十八	土	社交ダンス部二十周年記念ダンスパーティー(大ホール) 清交社・中央電氣俱樂部懇親囲碁競技会(中央電氣俱樂部 二〇五号室) 将棋部例会(指導なし) 囲碁部例会(指導なし)
二十七	金	午さん会 講演『小林一三』(電力は社会の基盤) 逸翁美術館・小林一三記念館・池田文庫館長 公益財団法人阪急文化財団理事 仙海 義之氏
二十六	木	文化探究会見学会(なら歴史芸術文化村 東大寺大仏殿・墨の資料館) 社交ダンス教室(B一〇号室) 十七時
二十五	水	文化探究会見学会(なら歴史芸術文化村 東大寺大仏殿・墨の資料館) 社交ダンス教室(B一〇号室) 十七時
二十四	火	
二十三	月	
二十二	日	囲碁部指導日 初・中級者向け囲碁教室(二〇五号室) 十時～十二時 いなづま句会(二一七号室)
二十一	土	囲碁部指導日 初・中級者向け囲碁教室(二〇五号室) 十時～十二時 いなづま句会(二一七号室)
二十	金	中央電氣俱樂部・清交社懇親ゴルフ競技会(GC 四条畷) 午さん会 講演(仮)『正岡子規と明治の群像』(子規の叔父加藤 拓川への手紙から見る日露戦争の時代) 正岡子規研究所主宰 樹木医 正岡律(正岡子規の妹)のご令孫 正岡 明氏
十九	木	社交ダンス教室(B一〇号室) 十七時
十八	水	社交ダンス教室(B一〇号室) 十七時
十七	火	
十六	月	
十五	日	
十四	土	産経新聞社 大阪経済部 記者 黒川 信雄氏
十三	金	午さん会 講演『ロシアによるウクライナ侵攻の実情』(産経新聞社 大阪経済部 記者 黒川 信雄氏)
十二	木	産経新聞社 特別記者 石井 聡氏
十一	水	社交ダンス教室(ホール) 十七時
十	火	スポーツの日(休館日)
九	月	
八	日	
七	土	産経新聞社 特別記者 石井 聡氏
六	金	午さん会(電社会合同) 講演『岸田政権の行方』(産経新聞社 特別記者 石井 聡氏)
五	木	電寿会例会 絵画部(B一〇号室) 社交ダンス教室(B一〇号室) 十七時
四	水	
三	火	
二	月	
一	日	

※予定変更の場合は改めて連絡いたします。

目次

10月のスケジュール — 2
 11月・12月の予定
 絵画 — 4
 講演録 — 5～14
 倶楽部だより — 15～17
 同好会だより — 18～19
 倶楽部からのご案内 — 20

創 立：大正3年11月
 建物(本館)：昭和5年竣工
 会 員 数：1,425名

法人指定会員 1,193名
 個人会員 232名
 (R.5.9月末現在)

中央電氣俱樂部創立一一〇周年記念式典・公演

◎十一月二日(木)
 創立一一〇周年記念公演
 ソプラノ歌手 山口安紀子氏
 ソプラノ歌手 平野 雅世氏
 テノール歌手 松本 薫平氏
 バス、バリトン歌手 片桐 直樹氏
 ピアノ奏者 前川 裕介氏

十一月の午さん会講演(予定)

◎十一月三日(金) 休会
 ◎十一月十日(金)
 講演『福島原子力事故～現状と事故からの学び』
 世界エネルギー会議 副会長 元東京電力ホールディングス 社長 廣瀬 直己氏
 ◎十一月十七日(金)
 講演『これまでの水力発電』
 ～黒部ダム六十年のあゆみと これからの水力発電について～
 関西電力株式会社 再生可能エネルギー事業本部 水力部長 山根 雄一氏
 ◎十一月二十四日(金)
 講演(仮)『令和六年の日本経済のゆくえ』
 日本銀行 大阪支店 副支店長 高田 英樹氏

十二月の午さん会講演(予定)

◎十二月一日(金)
 講演『アメリカンフットボール関係 テーマ名検討中』
 パナソニック株式会社 リーガルセンター 主務 園部 友美氏
 ◎十二月八日(金)
 講演(仮)『国際紛争の前段階としてのサイバー攻撃に対する わが国の現状と課題』
 N T T 技術企画部門 セキュリティ&トラスト室 チーフ・サイバーセキュリティストラジスト 松原 実穂子氏
 ◎十二月十五日(金)
 講演『紫式部と藤原道長』
 京都先端科学大学 人文学部 教授 山本 淳子氏
 ◎十二月二十二日(金) 休会

午さん講演会にご出席のおすすめ

毎週金曜日の午さん講演会は、下記の要領で開催いたしておりますので、多数ご出席ください。
 出席資格：倶楽部会員およびご同伴の方、会員会社の社員の方
 時 間：12時～13時40分頃 (講演12時40分～13時40分)
 場 所：3階大食堂
 食 事 代：一人会員2,200円(税込) 非会員2,500円(税込)
 予 約：不要
 着 席：自由着席

はじめに
台湾有事のキーパーソンは習近平氏です。中国の国家主席である習近平氏は、全国人民代表大会（全人代）でも「統一（台湾統一）のプロセスを絶対に進めていく」と表明しています。特に、国家主席三期目突入を決めた昨年の全人代では「祖国統一を絶対に果たす。それは必ず実現できし、必ず実現する」とまで言い切りました。習氏は憲法を改正し、永遠に国家主席としてあり続けられるようにしました。独裁者です。現在は三期目で、四期目を決めるのは

二〇二七年です。そのときも彼は続けるでしょうし、全人代で言い切ったのですから、そのとき台湾統一、祖国統一ができていなければなりません。必ず彼は台湾統一に動くはずで、少しさかのぼって二〇二一年にも、習氏は中国共産党成立百周年の記念式典で「完全な統一は歴史的任務である。絶対にやり遂げなければならぬ」と演説しています。辛亥革命百十周年記念大会でも、これを「歴史的任務」と言い切っています。今さらもう、あとへ引き下がることはできません。習氏は「最大の誠意と努力を尽く

して平和的な統一を実施する」といっています。平和的統一を果たしていくといいますが、習氏は「武力行使の放棄は約束しない」ともいっています。日本にとってその平和的統一とはどのような意味を持つものなのかを、国益の面でも考えなければなりません。
「台湾有事」は日本の有事
安倍元首相は「台湾有事は日本有事だ」といいました。これには二つの意味があります。ひとつは地政学的な意味で、台湾でひとたび有事が

『台湾有事と日本の課題』



公開講演会講演録

元 航空自衛隊 空将
航空支援集団司令官
麗澤大学 特別教授

織田 邦男 氏

織田 邦男 氏 プロフィール

- 昭和27年1月19日生 兵庫県出身(愛媛県大三島生まれ)
- 略歴 昭和49年 防衛大学校(航空工学専攻)を卒業し航空自衛隊に入隊
- 52年 F4戦闘機操縦者として第6航空団(小松)に勤務
- 58年 米空軍大学(指揮幕僚課程)に留学
- 平成 2年 第5航空団第301飛行隊長としてF4飛行部隊を指揮
- 4年 スタンフォード大学客員研究員
- 5年 航空幕僚監部防衛班長として防衛力整備に従事
- 8年 第2航空団飛行群司令(F15戦闘機操縦者資格取得)
- 9年 航空幕僚監部装備体系企画調整官
- 10年 航空幕僚監部補任課長
- 11年 第6航空団司令(兼小松基地司令)
- 13年 航空総隊司令部防衛部長
- 15年 航空幕僚監部防衛部長
- 17年 航空開発実験集団司令官
- 18年 航空支援集団司令官(イラク派遣航空部隊指揮官を兼務)
- 21年 航空自衛隊退職、三菱重工顧問
- 27年 東洋学園大学客員教授
- 29年 三菱重工退社、織田コンサルタント代表
- 令和 4年 麗澤大学特別教授

その他 令和 4年 瑞宝中綬章、正論大賞 受賞



「ヒロシマ ひまわりに祈る」 個人会員 白水 稔郎 君

作者のひと言

私は、満五才の時、広島市庚午町で被爆し、爆心地から三・五キロメートルの場所でした。国の被爆者健康手帳により、公費負担医療の受給資格もあって現在も定期検診を継続中です。生存被爆者の平均年齢は八十五才を超えています。

今日(八月二日)は絵画部教室で「ひまわり」を描いて酷暑を過ごしています。

(絵画部員 白水稔郎)

発生すれば、地政学的に日本は自動的に巻き込まれてしまいます。

台湾戦争やイラク戦争といった近代戦では通例、空から戦争が始まり、二〇〇マイルの距離で戦闘エリアを設けます。台湾から二〇〇マイルといえは先島諸島がすべてすっぽり入ります。すなわち、自動的に日本は戦争エリアになってしまいうわけです。

昨年、アメリカのペロシ下院議長が台湾を訪れたとき中国は強く抗議し、報復演習を始めました。すでに練り上げていた作戦計画を実行し、そして実際に九発のミサイルを撃ち、うち五発が日本の排他的経済水域に着弾しました。まさに日本を戦場として計画していることがわかります。

台湾有事が発生し、沖縄を含めた先島諸島が実際に戦場になってしまふとなれば、日本は先島諸島の十万人から二十万の住人と同時に、台湾にいる邦人も助けなければなりません。在留邦人二万五千人、観光客二万五千人、合わせて五万人の救出もしなければならぬ。ですから十五万から十七万の人を無事に助けること、あるいは避難させることを最初に考えなければならぬ。加えて、中国にいる十二万人の在留邦人も、国家は自国民を救う義務があります。それはもう、たいへんなオペレーションになってしまいますから、戦闘が始まれば、自衛隊はそこに力を割くだけの余裕はない。きな臭くなった段階で、台湾、中国の在

留邦人の方々には帰国してもらわなければなりません。暗黙の了解で、紛争の際には、元の宗主国が紛争地になっていきます。台湾有事となれば、台湾の元宗主国は日本です。そして台湾に最も近い先進諸国も日本です。ですから日本は台湾在留の外国人たちを助けなければならぬにかかわらず、日本はそのことに気がついていない。最低でも半月は必要でしよう。これが日本における台湾有事のひとつの意味となります。もうひとつの意味は、台湾の近くをシーレーンが通っていることです。日本の輸入エネルギーの九〇％が台湾周辺を通過しています。タンカー一隻でもやられてしまえば、たちまち日本のエネルギー供給は窮し、しかも紛争となれば台湾周辺だけではなく、南シナ海のシーレーンも中国に抑えられ、日本は完全に干上がってしまいます。マラッカ海峡を使うルートもあるにはありますが、通常航路と比べて、一隻あたりの燃料費は三千万円増となります。一年間で換算すれば一人四万円弱の負担増です。これだけでも経済がガタガタになってしまいます。

加えて、習近平氏の主席四期目が決められるのも二〇二七年の全人代です。となれば独裁者であり続けるため、彼は毛沢東でもなしえなかつた台湾併合を是非やりとげ、統一をしたいはずで

米海軍の長官は、中国という国はやるといつたら期限よりも早くやっつけてしまうから、もっと早いといい、アントニー・ブリンケン国務長官も「中国はかなり早い時間軸で統一を目指すべきです。これらは根拠のない発言ではないはずで

「二〇二五年、我々は中国と戦うことになる」といつています。その根拠は、来行なわれる台湾総統選挙です。しかもロシアで大統領選があり、アメリカでも大統領選がある。

てしまうのがこの法律の怖いところ
です。反スパイ法は個人に対するも
のですが、組織に対する対外関係法
も施行されており、中国の主権や安
全を損なう行為に対して処罰されま
す。

主だったものだけを挙げました
が、すでに戦う体制の法整備はでき
あがっています。

台湾有事はどのように
起きるのか
今の中国に、第二次世界大戦のノ
ルマンディール上陸作戦のような本格
的武力行使の能力はないと思いま
す。しかし、「まさか」ととらえる
のではなく、「もしかして」ととらえ、
どんな形の戦いがあるのかを予想
し、それに対する準備をしておくこ
とが安全保障となるわけです。その
観点から本格的な上陸作戦というも
のを考える場合のいくつかの要素に
ついて触れておきます。

まず、中国という国家が目標とし
ているものです。それは、習近平氏
がいい続けている「偉大なる中華民
族の復興」です。アヘン戦争で失っ
た土地は取り返し、以前の姿を取り
戻す。偉大なる中華民族復興の夢を
今世紀半ばまでに実現することが
中国という国家の、今の目標です。
二〇一七年の党大会では、習氏はこ
のことを三十数回にわたって繰り返し
述べています。

そして、二〇四九年には「社会主
義現代化強国」を全面完成させ、世
界を中国が主導する国際秩序をつ
くっていく。「偉大なる中華民族の
復興」と「社会主義現代化強国の完
成」の二つが中国の国家目標であり、
今後のすべての前提となります。

中国は孫子の兵法では、「敵の二
倍の兵力を有していても、こちらか
ら戦を仕掛けてはならない。分裂を
させよ」「五倍の兵力があれば戦争
を仕掛けよ」「十倍の兵力があれば、
戦争を仕掛けなくても奪い取るこ
とができる」と教えます。世界にまた
がるアメリカの戦力のほうが上まわ
るのですが、インド太平洋だけをた
らせば、中国はアメリカの二倍から
三倍の戦力を有しています。中国が
アメリカの能力と意思をどう読み取
るかです。

ウクライナ戦争から中国が受け
取った教訓は、戦争というものはた
いへんだということ。三日で終
わらせようとしていたのに、まもな
く二年になってしまふ。その様子を
逐一見ている中国は、もしも台湾を
侵攻するならば、できる限り短時間
にそれをなし、しかも国際的に孤立
しないようなやり方をしなければなら
ない、と思っているはず。す。
もうひとつの大きな要素は習近平
氏自身の野望です。台湾統一は無理
そうだからやめよう、とは決して思
わない。彼自身の目標が終身国家主
席ですから、君臨し続けるしかない。
第二の毛沢東を目指しています。そ
のためには二〇二七年の党大会で、
四期目の国家主席の座を確保しなけ
ればなりませんし、確保するためには、
毛沢東ですら果たせなかった台湾
併合を成し遂げたのだということに
しななければならぬわけ。す。
本格的な上陸作戦を計画するにあ
たっては、中国は沖縄戦を参考にし
ています。沖縄戦では台湾の十二分
の一大きさしかない沖縄を、米軍
を中心とした連合国軍は五十四万人
という兵力で取り囲み、そのうちの
十八万人を上陸させた。連合国側は
当初、一週間ほどで制圧し終えるだ
ろうとみていたのですが、実際には
三ヶ月もかかりました。中国は台湾
に同じようなことを仕掛ける能力は
ありませんので、他のやり方を計画
するはず。す。

一方、台湾側は、中国は「認知戦」
から仕掛けてくるだろうと分析して
います。「認知戦」は相手側の知識
や思い、知能に働きかけ、実際の戦
闘、戦争が始まる前に「戦つてもし
ようがない。犠牲を出す前に白旗を
あげよう」と相手に思わせるように
していく作戦です。この実際例であ
り成功例となるのが、二〇一四年の
ロシアによるクリミア併合です。
台湾の国民に敗北主義を植え付
け、中国の軍門に下ったほうがよい
と思わせ、台湾をパニックに陥れる
ため、アメリカ軍が入ってこないよ
う台湾を孤立化させ、影響力工作を
展開していきまふ。台湾は民主主義
ですから、台湾の人たちの大半を「戦
うことには反対」と思わせることが
できればゲームセットとなります。
この認知戦が第一弾です。

第二弾は、演習から戦争へという
流れです。演習と称し、台湾近海に
弾道ミサイルや巡航ミサイルをガン
ガン撃ち込んでいく。同時に台湾を
封鎖し、さらにはサイバー攻撃も仕
掛けていきながら、台湾の人たちを
恐怖に陥れていくのが次の手となり
ます。
それでも台湾が降参しないときに
は第三弾として制空権と制海権をと
り、場合によっては小規模の台湾上
陸作戦も展開して台湾の人を絶望さ
せる。この三つの手をアメリカが介
入する前にやっつけてしまおうとい
うのが、台湾が分析している中国の
攻め手です。
アメリカ側の分析では、一番目は
やはり認知戦です。台湾が自ら白旗
をあげるように持っていく。そのた
めには心理戦、世論戦、法律戦とい
う「三戦」を仕掛けてくるだろうと
分析しています。台湾の人たちの心
理に訴え、国際世論に訴え、法律的
にも訴えていく。さらにはフェイク
ニュースもあります。これらを駆使
した認知戦を、アメリカでも第一に
あげています。

二番目は、海上民兵等を使った威
嚇です。海上民兵という組織は普段
は漁船です。海上民兵に登録すれ
ば、普段は漁船なのですが、いざと
いうときGPS端末にテキスト形式
の命令が送られてくる。一千隻くら
いなら当たり前のよう呼び集める
ことができると思います。それを、
領有権アピールをするときや資材の
運搬にも使う。中国が南シナ海の埋

め立てをしたとき、領有権を争って
いる島嶼部の岩を埋め立て、滑走路
までつくった行為のほとんどは民兵
がやったものです。中華人民共和
国の憲法五十五条には「民兵組織に
参加することは義務である」と記さ
れていて、海上民兵の船舶が集う港
には「海洋権益を守るために戦陣の役
割を果たす」というスローガンまで
掲げられています。現在、その数
二十万人といわれていますが、ア
メリカ海軍の情報では七十五万人、
十四万隻となっています。

海上民兵全体の基地は海南島にあ
り、そこで彼らは実弾演習や偵察行
為の訓練を受けます。機雷敷設の訓
練まで行なっている。実はこの海上
民兵に、自衛隊では対応できないの
です。二〇一六年、その海上民兵の
船舶四百隻が尖閣諸島に集中して押
し寄せましたが、あくまで平時です
から、こういうことをやられても日
本には対応する法律がなく、自衛隊
は動けない。海上保安庁の能力を超
えるとして、海上警備行動が発令さ
れたとしても、海上自衛隊は海上保
安庁以上の武器は使用できません。
基本的に平時に動けるのは海上保安
庁と警察だけです。ですから日本が
中国の海上民兵に対応するには、海
上保安庁を強くしなければならぬ
とわたくしは主張しているのです。
ミサイル発射といった軍事的な威
嚇も、中国はやってくるに違いあり
ません。あとは、蔡英文総統を捕ら
える斬首作戦なんかもあり得ます。
この辺りの段階になれば、もう戦争

中国が最初に仕掛ける認知戦とし
て蓋然性が高いのは「平和的統一」
といわれるやり方でしょう。「平和
的」と言った途端、日本人はこれを
肯定してしまいがちですが、彼の
いう「平和的」ということの意味をよ
く見抜かなければなりません。習近
平氏は「最大の誠意と努力を尽くし
て平和的統一を実現したい。それが
かなわない場合は、武力行使も放棄
しない」と演説で語っています。
習近平氏はウクライナ戦争でロシ
アが苦戦していることはしっかりと
みています。欧米が結束し、バラバ
ラだったNATOが結束して武器支
援をしている状態もみています。こ
の結束をみれば、つまり、中国に
よる台湾有事に対してはNATO
三十一カ国が結束するという構図に
なってくれば、中国の人民解放軍
もそう簡単には動けないでしょう。
ここに、戦争を起こさせないための
鍵があると思います。

台湾問題について、NATOも一
応の関心は示してくれています。が、
実際に対応できるのは日本とアメリ
カだけです。フィリピンもダメ、韓
国も朝鮮半島に縛り付けられてい
る。習近平氏は絶対に台湾を統一し
ようとしています。そのときに、アメ
リカの戦う意思表示と日本の共同作
戦意思が明確であれば、「武力で台湾

平和的統一」という
言葉の意味

は奪えない。平和的統一の道しかなさそうだ」と思い直す可能性は十二分にあるはずだ。

中国のいう「平和的統一」とは孫子の兵法にある「戦わずして勝つ」、つまり「血を流さない併合」です。それは日本の国益にどのような影響があるのかを、私たちはよくよく考えなければなりません。

戦わずして勝つには、やはり先ほどから何度も触れている認知戦です。もうすでに始まっています。今年六月、中国と台湾の民間交流が盛んになってきました。習氏は当然「交流と協力を促進していく」というでしようし、台湾側でこれを主導している国民党も「我々は中国と手を携え、平和の海にしていこう」といっています。

平和的統一のやり方、道筋としてはあがるなら、ひとつめは、威嚇恫喝なくして、静かな環境下で中台が交渉をし、台湾の人たちが中国の配下に入ることを認めるというものです。ただし、台湾の世論調査をみれば、一国二制度による平和的統一に反対するという意見が八割を占めています。そして自主防衛の支持が九割になっていきますから、この道はありえないでしょう。二つめは、ロシアがクリミア半島を併合した方式です。二〇一四年、クリミア半島を見事なほどに無血併合しました。これをこのまま再びできると勘違いをしたのが、今回のプーチン大統領のウクライナ侵攻です。三つめは、威嚇、恫喝を強めて、最初から台湾の人た

票で決めよう」といいます。レーニン「投票とは、投票自体が重要なのではなく、投票結果が重要なのだ」といいましたが、その通り、二〇一四年三月十六日に行なわれたウクライナ併合の住民投票のときには、投票所に運び込まれた投票箱のなかには、すでに「賛成票」がごっそりと入っていました。結果、賛成票は八割。本当は二割ほどしかなかったそうですが、投票前に賛成票が仕込んであったのですから当然の結果です。賛成多数の結果を受けて、翌十七日、併合条約が締結されます。ハイブリッド戦争による見事な無血併合です。

仮に同じように台湾を攻略するならば、次のようなシナリオが考えられます。最初に台湾につながる海底ケーブルを切断し、次は通信衛星を妨害し、サイバー攻撃を仕掛けてネットワークをダウンさせます。こうして台湾を情報鎖国にし、住民たちを不安に陥れます。実際に今年二月二日、台湾本島と離島の馬祖島（台湾領）とを結ぶ海底ケーブルが切断されました。事故として扱われましたが、わたくしはすぐにこれは予行練習だと感じました。

情報鎖国化に成功したあとは少数による迅速な上陸作戦です。最初にヘリコプターを使います。人民解放軍が所有する一千機の軍用ヘリコプターを用いれば、八千人を一気に上陸させることができます。上陸後は直ちに各種行政施設、メディアを

ちに白旗をあげさせるやり方です。

二つめと三つめの方式は日本の存亡に関わります。シーレーンを中国に抑えられてしまうからです。中国がシーレーンを抑えれば、エネルギーの九割、食料の六割が途絶します。確実にコンビニからモノが消えます。

日本ではニュースにはなりませんでしたが、中国が出した二〇二二年版台湾白書では、一国二制度の扱いが以前と大きく違っています。以前は「人民解放軍は台湾併合後も進出しない。だから台湾は自分たちの軍隊を持つていてもよい。」となっていました。それが今回、消えてしまったのです。その意味の大きさを、日本はもっとセンチティブに考えなければなりません。人民解放軍は、併合をした暁には台湾に進駐する。そうなれば台湾周辺の、制空権、制海権を中国に奪われてしまう。いとも簡単にシーレーンは抑え込まれてしまいます。

台湾へのハイブリッド戦

習近平氏はロシアがクリミア半島を無血併合したハイブリッド戦争もすっかりとみています。ハイブリッド戦争では、公然・非公然、軍事・非軍事の境を曖昧にして、使えるものは全部使うという戦いで、宣戦布告もありません。あつという間に非正規軍によって支配される。クリミア半島では親ロシア派が主体となつて動きました。

抑え、蔡英文総統を拉致し、あとはデマ、フェイクニュースを流しに流して、とどめに「蔡英文総統はアメリカに亡命した」というデマを流せば完璧です。

次には「あなたの銀行口座は安全です」というフェイクニュースを流します。翌朝からあちこちで取り付け騒ぎが起き、町は混乱の巷と化すに違いありません。住民を不安の渦中に突き落としたあと、仕上げにクリミア半島併合のときと同じように台湾で住民投票をすれば、無血併合の完了です。

加えて、アメリカの対応に備えて日本の在沖繩米空軍基地、嘉手納基地の無力化工作に動きまわります。嘉手納基地の無力化工作の最初は海上民兵を使い、尖閣諸島にある久場島（くばじま）に上陸し、世界最強のロシア製対空ミサイルS400を配備させる、もしくは、中国人女性が購入していたことが今年になって判明した、嘉手納基地に近い屋那覇島（やなはじま）に地对空ミサイルを配備すれば、アメリカは嘉手納基地を捨て、撤収するに間違いありません。久場島や屋那覇島で事前にそのような工作が行なわれても、平時ですから自衛隊が動くことはできません。リーダー設置もミサイル配備も簡単できてしまうでしょう。

これで台湾の人たちがなびかないようであれば、もっと脅しをかけ、威嚇し恫喝し、ミサイルを撃ち、戦闘機を飛ばす。そうして彼らを敗北主義に陥らせます。実際、もう既に

クリミアのときは、朝起きてみたら、電話もファックスも使えない。テレビは映らないラジオも聴けない。インターネットも使えない。窓の外をみると、得体の知れない軍人たちがいる。階級章はないし、国旗の表示もない。その彼らがスペツナズ、つまりロシアの特殊部隊だとわかったのは一週間後です。まず、得体の知れない軍人たちがクリミア自治政府のメディア、通信施設、議会などの主要施設をあつという間に占拠しました。空港も占拠です。次には親ロシア派の住民たちが表に出てきました。軍人が前面に立てば反発が大きくなるからです。親ロシア派住民が「我々はロシアに組み込まれたほうが幸せになる」、「我々はウクライナ政府に頼るよりもロシア政府を頼るべきだ」と、ニセ情報やデマを町中に流し、煽動するわけです。そういう状況のなかで、住民たちを最も不安に陥れるのが「あなたの銀行口座は安全です」というフェイクニュースです。安全だなどとは誰も信じていませんから、これで翌朝から取り付け騒ぎとなり、みんなが銀行へ群がってしまう。「銀行口座が危ない」とするよりも、はるかに効果は大です。

住民たちを大きな不安の渦中に投げ入れたあと、またぞろ親ロシア派住民たちが出てきて、「我々にはそれぞれ異なる意見もあるようだから、ロシアに組み入れてもらったほうがよいのか、これまでのようにウクライナのままよいのか、住民投

実施中です。

二〇二二年、中国は五百五十五回も台湾海峡の中間線を超えています。二〇二一年には五回に過ぎなかったのに、一年後には百倍の数の領空侵犯になつている。台湾もそれまでは、中国の軍用機が中間線を超えた瞬間、スクランブルをかけていきましたが、年間五百回以上のスクランブルとなればその負担は大きく、今は台湾ではスクランブルをかけていないそうです。認知戦が半分以上進行している証といえるでしょう。

台湾が認知戦で負けないようにするには、つまり、敗北主義に陥らせないようには、アメリカに頼らなければならない。これが認知戦への対応です。現在も中国は台湾の孤立化作戦を展開しています。今、台湾と国交を有しているのは十三ヶ国だけになりました。国交を結ぶ国が少なくなればなるほど、認知戦は効果をあげていきます。

これまで申し上げたとおり、「まさか」と考えるのではなく、「もしかして」と考えて備えておくことが必要です。いかに「平和的に」といえども、その平和的とは流血がないだけで、威嚇恫喝何でもありという意味なのだ。私たちは深く認識しておかねばなりません。何よりも、台湾併合、台湾統一は日本にとって国家の存亡に関わるほどの問題です。台湾に人民解放軍の空軍、海軍が進駐すれば、

台湾周辺の制空権、制海権が奪われ、日本のシーレーンは支配されてしまします。シーレーンが途絶状態になれば、エネルギーの九〇%、食料の六〇%が中国の支配下に組み入れられ、結果、日本は中国の言いなりにならざるをえなくなります。アメリカも第一列島線から第二列島線へと後退していき、アジアにおけるアメリカの影響力が弱くなります。日米同盟も機能しなくなるかもしれません。

加えて、日本ではほとんどニュースになりませんが、台湾とフィリピンのあいだに位置するバシー海峡の存在も重要です。爆撃機、ICBMと並び、中国の対アメリカの核戦略には原子力潜水艦があります。中国は普級潜水艦にJL2という潜水艦発射弾道ミサイルを装備しており、その基地が海南島にあるのですが、南シナ海から撃つてもワシントンには届きません。ですから、中国の潜水艦はバシー海峡を通ってアメリカ本土に近づいていくしかないのですが、アメリカはそれを攻撃できるよう常時監視しています。つまりバシー海峡はアメリカと中国の核のバランスを保つ上での要衝地となっているわけですが、このバシー海峡の制海権が中国に奪われてアメリカの守りが弱体化することになれば、日本にとってはアメリカの核の傘が十分なものでなくなり、大きな危機となります。

台湾有事は日本の有事であるというところが、以上の話でおわかりいたはもう、アメリカでも一国で中国を抑えるだけの力はないのです。だから手伝って欲しいというのがアメリカの本音です。アメリカの年間国防費は百兆円です。日本はたかだか五兆円にすぎなかった。これを八兆円にまで引き上げようとしていることをアメリカは評価しました。そうして両国が台湾海峡の平和と安定の重要性を認識して、日米首脳会談でも台湾海峡の平和的解決を促す。この場合、「平和的解決」という言葉ではなく、「台湾の併合は認めない」としたほうがよかったかと思いません。

ミサイルギャップについても少し触れておきます。今、中距離ミサイルの数が中国の一千九百発に対して、アメリカはゼロになっています。これは冷戦のとき、ソ連（当時）と中距離核戦力全廃条約を結び、アメリカが中距離ミサイルの保有数をゼロとしたからです。米ソのこの条約に、中国は入っていません。そこで中国は、漁夫の利を得たとばかりに中距離ミサイルを増産し、結果的に一千九百発対ゼロになっていきます。さすがにアメリカ側もこれに危機感を持ち、二〇一九年、トランプ大統領のときに条約を破棄して再び生産を始めました。今年暮れから配備していくはずですが、中距離ミサイルの航続距離は五百キロから五千五百キロですから、配備できる地は Guam、日本列島、フィリピン、韓国しかありません。

だけたのではないかと思えます。戦争を起こさせないためには日米同盟をより強固にし、日本の抑止力を強化しなければなりません。

今、何をなすべきか

台湾の世論調査では、永久、または将来の独立も含めた現状維持派が八割を占めます。台湾の現状維持は、そのまま日本の国益です。対して、将来の中台統一、あるいはそれを独立と称する統一派は二割に及びません。他の世論調査の項目を見ても、八割が一国二制度に反対しています。自主防衛をすべきだという回答は九割もあります。

要するに台湾の人たちは、現状維持で、戦争の起きないことを一番望んでいる。しかも、統一も併合もされない状態という事です。これは日本の国益にピタリと合致しています。ですから、この台湾の人たちの思いを支援するのが日本の役目役割となるわけです。

プーチン大統領の誤算からウクライナ戦争が起ったように、独裁者が誤算をすれば戦争が起きます。台湾の人たちの思いは日本の国益に合致しているのですから、これを強く推し進めていき、習近平氏に誤算をさせないようにしなければなりません。日本がしっかりと防衛力の整備をし、アメリカとともにファイティングポーズを示しておけば、戦争は起りません。先ほどの世論調査では、台湾有事の際、日本が助けてく

軍事力のバランスが崩れてしまうことは、戦争のひとつの大きな原因になります。バランスを保つために、中距離ミサイルは日本列島の第一列島線に配備するのがよいとわたくしは思っています。現にアメリカのインド太平洋軍司令官は「日本が一番適している。日本に配備できないものか」といっています。

核バランスの綻びに対して、韓国はいち早く動きました。韓国の人たちの七五%は「核武装をすべきだ」と考えています。この世論を背景に、尹（ゆん）大統領は訪米して交渉し、米国の韓国防衛への強い声明を勝ち取って帰ってきました。

日本の課題ととるべき対応

先ごろ、習近平氏が初めて「琉球」に言及しました。「沖縄」ではなく、中国の属国であったときの「琉球」といっています。これは、台湾の次を見越しての習近平氏の発言のような気がしてなりません。台湾の次は沖縄だ、というわけです。

日本の課題は、現実をみて自衛隊の弱さをしっかりと自覚し、そのなかでアメリカと歩みを合わせる形で戦略的思考をし、日本の防衛と東アジアの平和維持を考えることです。アメリカはもう、一国では対応できない。この事実から目をそらしてはなりません。

中国は二〇四九年までに社会主義現代化強国になると表明しています。パックス・アメリカーナから

れると答えた人が六割にものぼっているのです。日本の現状にもかかわらず、日本が大きく信用されている。そのことから日本が台湾の人たちに寄り添い、励ましていくことの大事さが読み取れると思えます。

二〇二一年、岸防衛大臣のときには、2プラス2（日米外務・防衛閣僚会合）で初めて中国を名指しし、日米で台湾を守るという姿勢を示しました。具体的には、日本は昨年、防衛力の抜本的強化を決定し、日米で共同計画をつくり、台湾を守る姿勢を強くアピールしています。

とにかく「二〇二七年まで」です。二〇二七年までに今ある防衛力を最大活用すると同時に、防衛費をNATO並みのGDP二%まで引き上げる。このことは、習近平氏に対する「戦争はするな」という日本の意思表示になるはずですが。

放っておけば、二〇二五年、アメリカと中国の軍事力の差はさらに加速します。人民解放軍の戦闘機は米軍の八倍になり、爆撃機は四・五倍、艦艇は九倍、潜水艦は六倍になってしまふ。先ほど、孫子の兵法では「戦力差が五倍になれば戦争を仕掛ける」といいましたが、その状況は避けねばなりません。日本の防衛力整備が整えば、日米トータルしての戦力差は、戦闘機は三倍、艦艇は二・五倍、潜水艦は二倍にまで縮まれます。戦争回避のギリギリのラインまで抑えることができるわけです。今年七月、2プラス2で日本の防衛力整備の考え方を示しました。実

パックス・シニカ、つまり中国が主導する世界秩序をつくろうとしているのです。当然日本は自由と民主主義のパックス・アメリカーナが維持できるような努力をしなければなりません。つまり、アメリカは何をしていくのかという思考ではなく、アメリカをどういうふうに使えばよいのかを考えるようにしなければなりません。今は反米、親米ではなく、わたくしがつくった言葉ですが米国を活かす、「活米」の時代に入っています。

日米同盟をより活性化し、今、どんどん尻込みをしようとしているアメリカの首根っこを掴まえて、これまで以上に東アジアの平和維持に巻き込んでいくことが大事です。そのため、日本はアメリカと一緒に戦うという意思と姿勢を明確に示すことです。

あとは安倍さんが首相のときに提唱した「自由で開かれたインド太平洋戦略」も活性化していかなければなりません。

日米同盟の次には「AUKUS（オーカス）」にも加入すべきだと思います。AUKUSはオーストラリア、イギリス、アメリカの三国間の軍事技術的な提携で、メインは潜水艦となつていますが、これに日本も入るべきです。これに限らず、日本は日米同盟を基軸にしつつも、いろいろな枠組み、多様な枠組みに重層的に加わっていくようにすることが日本の安全保障を保つために重要です。

一般社団法人中央電気倶楽部

創立110周年記念式典

当倶楽部は11月で創立110周年の節目を迎えます。これも会員の皆様の永年にわたる支援の賜物と感謝しております。つきましては、標記式典を開催いたしますので、是非ご参加下さいますようお願い申し上げます。

日時 _____

令和5年11月2日(木) 14:00~

場所 _____

中央電気倶楽部 (公演) 5階 大ホール
(祝宴) 3階 大食堂

挨拶 _____

理事長 加藤好文

公演 _____

藤原歌劇団 団員 山口安紀子さん
藤原歌劇団 団員 平野 雅世さん
神戸女学院大学 教授
藤原歌劇団 団員 松本 薫平さん
相愛大学 非常勤講師 片桐 直樹さん
大阪音楽大学 ミュージカルコース非常勤助手
神戸市混声合唱団ピアニスト 前川 裕介さん

祝宴 _____

3階 大食堂 立食(ビュッフェ形式)

定員 _____

120名(先着順)

協賛金 _____

10,000円

お問い合わせは倶楽部事務局
TEL: 06-6345-6356(総務)まで。



山口安紀子さん
(ソプラノ)



平野 雅世さん
(ソプラノ)



松本 薫平さん
(テノール)



片桐 直樹さん
(バス・バリトン)



前川 裕介さん
(ピアノ)

CLUB GRAF くらぶ・ぐらふ

◎午さん会(4月28日)
『米中対立と最近の国際関係について』
東京大学 東洋文化研究所 准教授 佐橋 亮氏



◎午さん会(5月19日)
『乱れる国際秩序と今後の日本』
皇學館大学 現代日本社会学部 准教授 村上 政俊氏



◎午さん会(5月26日)
『世界にひびく』
津軽三味線演奏家 佐山 千尋氏



◎午さん会(6月2日)
『藤井聡太とこれからの将棋界』
将棋棋士 九段 藤井聡太七冠の大師匠 小林 健二氏



「QUAD(クワッド)」ももちろんです。インド、アメリカ、オーストラリア、日本の四カ国が安全保障と経済を協議する枠組みですが、これも四カ国に限らず、同じ価値観を持つ国々にどんどん参加してもらおう。さらには「ファイブ・アイズ」もありません。ファイブ・アイズは、アメリカ、イギリスを中心とするアングロサクソン系五カ国の協定に基づく機密情報共有の枠組みで、彼らの方から日本に参加の誘いが入っています。情報をタダでくれるのですからまたとないチャンスです。それにはスパイ防止法の制定と言った体制が必要ですが。

「NATO」との連携を含めて、自由で開かれたインド太平洋戦略、AUKUS、QUAD、ファイブ・アイズの五つは、これからの日本の安全保障の要となっていくはずだ。

それから、ハイブリッド戦争は時に起る戦争です。しかし日本には憲法九条というものがあって、自衛隊は雁字搦めに縛られ、自衛隊法によつて平時に動けないようになってきます。海上保安庁と警察の機能を強化すると同時に、究極的には憲法の改正が必要となってきます。

最後に、安保法制、それも特に平時法制のさらなる改善も求められませんが、警察官の職務執行法の準用ではなく、自衛官職務執行法をつくる。そのためにも憲法の改正が必要です。

安全保障というものは「誰かがやってくれる」というものではなく、国民の一人ひとりが考える問題なのです。国は一人ひとりの国

くさいこと)

民によって成り立っているということを、私たちは改めて深く認識しなければならぬということに最後に申しあげて講演を終わらせていただきます。

(令和五年八月八日
講演抄録文責在記者)



左から
ピアノ:宮國香菜さん
フルート:山本純子さん
バイオリン:今西彩菜さん

今年はフルートの山本純子さん、バイオリンの今西彩菜さん、ピアノの宮國香菜さんをお迎えし、クラシック音楽から皆さま馴染みの曲まで、華やかなラインナップで素敵な演奏をご披露いただきました。

中央電気倶楽部の歌

作詞 山口佳恵子
作曲 山口佳恵子
編曲 河合根子

- | | | |
|--|--|---|
| <p>1 光る 光る
村に町に</p> <p>光れ 光れ
世界の国に</p> <p>電気は夢
夢を生む</p> <p>エレキのこころ
中央電気倶楽部</p> | <p>2 走る 走る
野に山に</p> <p>走れ 走れ
世界の国に</p> <p>電気は夢
夢を育む</p> <p>エレキの絆
中央電気倶楽部</p> | <p>3 踊る 踊る
海に空に</p> <p>踊れ 踊れ
世界の国に</p> <p>電気は夢
夢をのせ</p> <p>エレキは次の代に
中央電気倶楽部</p> |
|--|--|---|

Andantino

1 光る - 光る - 村に - 町に -
2 走る - 走る - 野に - 山に -
3 踊る - 踊る - 海に - 空に -

光れ - 光れ - 世界の - 国に -
走れ - 走れ - 世界の - 国に -
踊れ - 踊れ - 世界の - 国に -

電気は - 夢
夢を - 生む
エレキ - のこころ
中央電 - 気倶楽部

電気は - 夢
夢を - 育む
エレキ - の絆
中央電 - 気倶楽部

電気は - 夢
夢を - のせ
エレキ - は次の代に
中央電 - 気倶楽部

会員感謝祭 盛大に開催

さる八月二十五日(金)、五階大ホールにて会員感謝祭が盛大に開催され、会員とご同僚の方々総勢六十五名の方に参加いただきました。

この会員感謝祭は、かつて「縁日祭り」の名前でお楽しみいただいていた夏のイベントで、昨年名前を変えて今年で二度目の開催です。

第一部と第二部の間に乾杯とお食事の時間を設け、ご尽力いただきました中田恭二さまにご挨拶をいただきました。



中田 恭二さま
乾杯のご発声・ご挨拶

また中央電気倶楽部の歌を第一部の締めくくりとして演奏、合唱いただきました。改めまして、中央電気倶楽部の歌の歌詞を掲載いたしますので、ご覧ください。第二部リクエストコーナーの『上を向いて歩こう』と『明日があるさ』で、会場は大いに盛り上がり、最後は日本の四季メドレーで締めくくりました。

貸室キャンセル料について

令和二年八月より、コロナウイルス蔓延時に適用していただきましたキャンセル料金の緩和措置を令和五年八月末日で終了いたします。

九月一日からのキャンセル料は、左記のとおり、通常の取扱いに戻ります。

ホール キャンセル料		
①使用日の3ヶ月以内	室料	10%
②使用日の1ヶ月以内	室料	30%
③使用日の2週間以内	室料	50%
④使用日の7日以内	室料	100%
511・513号室 キャンセル料		
①使用日の1ヶ月以内	室料	30%
②使用日の2週間以内	室料	50%
③使用日の7日以内	室料	100%
上記以外の会場		
①使用日の7日前	室料	30%
②使用日の5日前	室料	50%
③使用日の前日・当日	室料	100%

(当倶楽部休館日を除く・営業日換算・使用日含む)

食堂よりのお知らせ

「豚のごぼうしゃぶしゃぶ鍋」いつもお世話になり、有難うございます。地下一階「えれき亭」にて十月二日より新メニューの『豚のごぼうしゃぶしゃぶ鍋』を開始させて頂きます。

国産もち豚を使用し、ごぼうと一緒に自家製つゆでお召し上がりください。メは中華麺となります。付出しつきで一人前四、八〇〇円(税込)です。宜しくお願い致します。



豚のごぼうしゃぶしゃぶ鍋 ※写真は二人前です。

電社会講演会開催

『海上自衛隊の概要』電社会(代表幹事 猪谷 勇三氏・当番幹事 山田 拓幸氏)は、九月七日木曜日会員十六名参加のもと、自衛隊大阪地方協力本部 阪南地区隊長 一等海佐 沢村憲一氏、渉外広報係の山本諒平氏を講師にお招きしました。当日はお二人とも凛凛しく颯爽たる白い制服姿で講演いただきました。

大阪はなかなか海上自衛隊になじみがないとの事で、講演内容は組織編制や任務、艦艇や自衛官募集まで多岐にわたってご説明くださいました。

二人人ほどいる女性自衛官で初のイージス艦艦長となつた大谷一等海佐は大阪府吹田市ご出身のことです。

最後に『AIの活用はどうなのか?』というご質問があがり『社会一般に比べると進んではないが重視しており積極的に取り組んでいる』と述べられ講演を終えられました。



左から
山田 拓幸氏
猪谷 勇三氏
沢村 憲一氏
山本 諒平氏



◎絵画部(水彩画)教室

九月度(六日・水曜日)の画材は、「静物・野菜」でした。

次回は十月四日(水)、「静物・風景」です。

◎囲碁部 例会(九月九日)

成績

二勝 四段 井垣 文男 君
〃 四段 廣川 強士 君
(参加者 四名)

(次回例会は十月十四日(土))

◎将棋部 例会(八月二十六日)

成績

二勝 六段 井上 清志 君
(参加者 五名)

(次回例会は、十月二十八日(土)指導なし)

◎俳句部

第八百五十三回 いなづま句会

俳誌「かつらぎ」主宰 森田純一郎先生指導
令和五年八月十九日
兼題 当季雑詠五句

選者吟

法堂の仏器に涼の新たなる
太宰にはなれず盃干す忌日かな
妻のメモびつしり貼られ冷蔵庫
冷えすぎる電車降りれば暑すぎる
滝湿りせぬ注連のなき不動かな

いなづま句抄

- テングロンハットの女夏野来る 難波 正行
- 総絞り浴衣の旦那鉾町へ 留岡 寛
- 台風呼吸に合はせ雨戸反る 渡邊 建彦
- 地球とは青い星なり星月夜 木下 貴友
- 送り火の煙もつれて去りにけり 東代 舞
- 上布掛けあり石鼎の在すかに 広田 祝世
- その中は知りたくもなし蟻地獄 出店智恵呼
- 風筋にいつもころがる籠枕 奥村 恵子
- 島々に渡り香るや花蜜柑 友岡 淑子
- 多目的広場ただ灼けめたりけり 前野美枝子
- 上人坂いまはもチェロの音の涼し 富山 勝幸
- 子等と句を競ふも楽し夏休み 野尻 弘輔
- 稲作地バスより早し青田波 前田 便利

(○印選者選)

◎麻雀部第二六二回大会(八月十九日)

成績

- 優勝 永坂 雅彦 君
- 二位 岡田 高志 君
- 三位 濱野正一郎 君
- 四位 塚本 雄藏 君
- 五位 野上 勝也 君

(参加者 二十四名)

・優勝コメント

並みいる強者が多数おられる中で、思い掛
けず優勝という栄誉に、驚いております。有
難うございます。
配牌よし、自摸よし、今回のようにこんな
運のいい麻雀はそうそうありません。
まさに、運が味方してくれたおかげです。
伝統と由緒ある当倶楽部の麻雀大会の
歴史に「優勝」という名を刻めた事に感激し
ております。



永坂 雅彦氏 景山 績氏

いつも万全の
運営をして下
さる景山委員
長、事務局の皆
様、毎回、お世
話をお掛けてお
ります。深謝
しております。
これからも麻雀部の皆様、よろしくお願
いいたします。
(次回大会は十二月十六日(土))

(注)

法堂(はつどう)・・・禅寺で、住職が法門を講演
する堂のこと。
テングロンハット(てんがろんはつと)・・・水が
10ガロン入るといふ誇張から、カウボーイ
などが被る山が高い、鍔が広い帽子のこと。
鉾町(ぼこまち)・・・室町通と新町通の周辺で、
四条通を周辺に南北に広がるあたりは祇
園祭で山や鉾が立つため、「鉾町」と呼ばれ
ている。
送り火(おくりび)・・・お盆の行事の一つで、お
盆に帰ってきた死者の魂を現世から再びあ
の世へと送り出す行事のこと。(季語)
上布(じょうふ)・・・上質な麻織物の一種。(季
語)
石鼎(せきてい)・・・俳人、原一石鼎のことで、高
浜虚子に師事していた。
上人坂(しょうにんざか)・・・道後温泉の外れに
ある「宝蔵寺」は、時宗の開祖、一遍上人の
生誕の地で、「宝蔵寺」の参道は「上人坂」
と呼ばれている。
青田波(あおたなみ)・・・季語「青田」の子季語
で、吹く風によつて青田の稲が波打つ様子の
こと。(季語)

◎撞球部

・第一三三回三倶楽部対抗四ツ球競技会
(九月二日)於(一社)中央電気倶楽部撞球場)

昭和三十年から始まりました伝統ある
「三倶楽部対抗四ツ球競技会」の成績結
果は次のとおりです。

成績

団体戦
優勝 大阪倶楽部
二位 清交社
三位 中央電気倶楽部

個人戦

三位 富山 勝幸 君
(当倶楽部出場選手・六名)
村上 幸夫 君・佐々木 孝 君
池端 博 君・菱谷 泰三 君
富山 勝幸 君・奥谷安規子 君

・優勝コメント

重陽の節句開催となった九月例会、前回優勝は二
月の立春開催と、節句の見える糸に操られ
ているような不思議な感覚の平幕優勝でした。
開催当日は早朝ラビートのW杯開幕戦・ランス対
ユ・シランド戦をライブ観戦し、朝寝坊？あわや遅
刻かと慌たたく参加しました。
例会以外の行事にもあまり参加できず練習不足
も重なっているなかでの参加、敗戦覚悟で気楽に突
けたのが功を奏したのでしょうか自分ではわかりま
せん、対戦していただいた皆さんありがとうございます。
目標は、他力本願の試合から卒業し、バラ玉解消
方法の技量習得に励み、アベレージ倍増を目指したい
と思います。今後のご指導をよろしくお願いたし
ます。

(次回例会は十月七日(土))

他倶楽部案内

●●●●● 清交社の午さん講演会の案内

会場：ANAクラウンプラザホテル大阪
三階飛鳥の間 他
時間：十一月二十分～十三時三十分
十月三日(火)
講題「新たな社会のセーフティネット
―貧困家庭を支援する
「子ども宅食」について―」
フリーアナウンサー 竹内 弘一 氏

十月十日(火)
講題「二〇二五年日本国際博覧会
(大阪・関西万博)について」
二〇二五年日本国際博覧会協会
副理事長(理事) 高科 淳 氏

十月十七日(火)
講題「私のサラリーマン人生」
日本航空株式会社
執行役員 中野 星子 氏

十月二十四日(火)
講題「変革の時代に求められる
元氣と知恵の経営」
一柳アソシエイツ
社長 一柳 良雄 氏

十月三十一日(火)
講題「画像で見る感染症の歴史
―ベストから新型コロナまで―」
市立豊中病院総長 吉川 秀樹 氏
大阪大学名誉教授

※状況により中止になる場合があります。

◆出席ご希望の方は、当倶楽部事務局に
二日前までにお申し込み下さい。
◆会費/三〇〇〇円(昼食代消費税込後日精算
前日の午後五時以降は、キャンセル料が発
生します。
☆クルーズ(十月末まで)